

復興できる 未来 復興できる 未来

請戸小学校の児童ら全員が無事避難できた場所

浪江町のB級グルメなみえ焼きそばがおすすめ!

～ホープツーリズムとは～
福島県は、世界で類を見ない「復合災害(地震・津波・原子力災害)」を経験した唯一の場所。復合災害の教訓等から「持続可能な社会・地域づくりを探究・創造する」福島オンラインの新しいスタディツアープログラムです。

大平山霊園

道の駅なみえ

東日本大震災・原子力災害 伝承館発着

被災地の現状を伝える 総合案内人とめぐる

ホープツーリズム体感 無料周遊バス運行

震災遺構 請戸小学校

津波の脅威を後世に伝える県内唯一の震災遺構

東日本大震災による犠牲者への追悼と鎮魂の公園を建設中

福島県復興祈念公園

東日本大震災・原子力災害 伝承館

ホープツーリズムの中心施設

世界初の特許技術で作られたタオルが購入できる燃系工場

JR双葉駅

浅野燃系(株) フタバスーパーゼロミル

総合案内人 (フィールドパートナー)がツアー中、被災地の現状や周遊施設等に関する情報をお届けします。

無料バス運行

運行会社：東北アクセス株式会社 双葉営業所

運行日 2024 11月2日(土)・3日(日)

伝承館	復興祈念公園	請戸小学校	大平山霊園	道の駅なみえ	JR双葉駅	浅野燃系株	伝承館
発	※車窓のみ	発	※車窓のみ	発	発	発	着
9:50	—	10:05	—	10:20	10:40	10:45	10:50
11:05	—	11:20	—	11:35	11:55	12:00	12:05
13:10	—	13:25	—	13:40	14:00	14:05	14:10
14:25	—	14:40	—	14:55	15:15	15:20	15:25
15:40	—	15:55	—	16:10	16:30	16:35	16:40

ご案内

- 車内は禁煙、自由席、定時運行いたします。
- 道路状況により発着時間に変更になる場合がございます。
- 大型バス1台での運行となり、正シート45席を越えますと、ご乗車頂けませんのでご了承ください。
- ご乗車当日、アンケートのご協力をお願いします。
- 現地の説明ガイドが同乗しております。
- 福島県復興祈念公園、大平山霊園以外の施設は自由に乗降可能です。
- 荒天時は安全面を考慮しバスの運行を中止させていただく場合がございますのでご了承ください。
- 何度でも乗降可能です。

お問い合わせ ふくしま浜通り・トライアルツアー事務局 (近畿日本ツーリスト株式会社福島支店内) ☎024-521-1411 (平日10:00～17:00 ※12:00～13:00を除く。土・日・祝日休業) 主催：福島県観光交流局観光交流課

東日本大震災・原子力災害伝承館発着無料周遊バス運行ルートマップ

道の駅なみえでは飲食やおみやげが買えます

大平山霊園は車窓からの見学になります

福島県復興祈念公園は令和7年度完成予定

双葉町産業交流センター(F-BICC)では飲食やおみやげが買えます

浅野燃系(株)フタバスーパーゼロミル

東日本大震災・原子力災害伝承館

JR双葉駅

請戸小学校

道の駅なみえ

大平山霊園

復興祈念公園

浅野燃系

双葉町産業交流センター(F-BICC)

伝承館

5道の駅なみえ

4大平山霊園(コミュニティ広場)

3震災遺構 浪江町立 請戸小学校

2福島県復興祈念公園

1東日本大震災・原子力災害伝承館

双葉町産業交流センター(F-BICC)

6 JR双葉駅

7浅野燃系(株)フタバスーパーゼロミル

8東日本大震災・原子力災害伝承館

9双葉町産業交流センター(F-BICC)

追悼と鎮魂の丘は、地面からの高さ約10メートルで、直径200メートル。全方位を望むことができ、震災後に整備された防潮堤や海岸防災林、爆発事故のあった東京電力福島第一原発の排気筒も見えるようになります。

追悼と鎮魂の丘は、地面からの高さ約10メートルで、直径200メートル。全方位を望むことができ、震災後に整備された防潮堤や海岸防災林、爆発事故のあった東京電力福島第一原発の排気筒も見えるようになります。

追悼と鎮魂の丘は、地面からの高さ約10メートルで、直径200メートル。全方位を望むことができ、震災後に整備された防潮堤や海岸防災林、爆発事故のあった東京電力福島第一原発の排気筒も見えるようになります。

追悼と鎮魂の丘は、地面からの高さ約10メートルで、直径200メートル。全方位を望むことができ、震災後に整備された防潮堤や海岸防災林、爆発事故のあった東京電力福島第一原発の排気筒も見えるようになります。

6 JR双葉駅

7浅野燃系(株)フタバスーパーゼロミル

8東日本大震災・原子力災害伝承館

9双葉町産業交流センター(F-BICC)

令和2年3月14日、9年ぶりにJR常磐線が全線運転再開し、双葉駅にも1日6本の特急列車、1日22本の普通列車が停車します。

津波によって何もかもなくなった双葉町の地に、新たな工業団地が作られ、町民の復帰も始まりました。双葉町の復興から次への発展を担う一翼としてフタバスーパーゼロミルを稼働させ、双葉町を代表する糸やタオル製品を日本だけでなく世界に発信しています。

東日本大震災と原子力災害について、発災前の地域像や発災当時およびその後の避難生活を示す資料などを約29万点収蔵しており、このうち約200点を常設展示しています。地震、津波、原発事故の被害を伝える実物資料や証言映像に加え、被災住民の語り部講話などもあり未曾有の複合災害に理解を深めることができます。

双葉町内で最も早く避難指示が解除された中野地区に令和2年10月にオープン。双葉町の復興をけん引する中野地区の中核施設で、貸会議室や貸事務所のほか、フードコートやレストラン、土産物店等の商業施設が入る複合施設です。

お問い合わせ ふくしま浜通り・トライアルツアー事務局 (近畿日本ツーリスト株式会社福島支店内) ☎024-521-1411 (平日10:00～17:00 ※12:00～13:00を除く。土・日・祝日休業) 主催：福島県観光交流局観光交流課